

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 農業メイン強化先への取組

JA名 JAなすの（栃木県）

1 動機 (経緯)	農業メインバンクとしての地位堅守、農業者満足度の向上を目的として、メイン強化先との、取引深耕（訪問・コミュニケーション進化等）に取組み、農業者のニーズを捕捉し多様化する農業者全体への金融対応力の強化を図ります。
2 概要	将来的な地域農業の担い手として関係を再構築・強化すべき農業者について、JA未取引先を含め「メイン強化先」と位置付け、JA内各部署との連携により、的確にニーズを捕捉し、より専門的・高度な農業金融サービスの提供・相談等を実施します。
3 成果 (効果)	選定したメイン強化先への訪問活動による情報収集、各部署との連携により総合JAの強みを発揮し、総合的に農業者のニーズに対応して行きます。
4 今後の 予定（課題）	規模の拡大、法人化が進む中、制度資金をはじめ、保証協会等との要項・要領の見直し。また、より専門的な知識の習得が必要なため、農林中央金庫が募集する農業トレーニー研修制度へ積極的に参加します。